

新年 あけましておめでとうございます。



旭区

介護相談員だより



平成21年1月 第2号

事務局 旭区鶴ヶ峰1-4-12 旭区役所福祉保健センターサービス課内
電話 045-954-6061

介護相談員の役割

- ア) 利用者とサービス提供事業者との橋渡し役
利用者の不安、不満、疑問などを聴き、利用者の権利擁護の手助けとサービス提供事業者が介護サービスの質的向上に向け自ら「気づく」ための橋渡し役です。
- イ) 横浜市の高齢者福祉施策に対する課題提供役
- ウ) 超高齢者社会を迎える横浜のまちづくり推進役 (介護相談員マニュアルより)

介護相談員を受け入れて

介護老人保健施設 四季の森 事務長 岡田 茂 氏

旭区より介護相談員の派遣を頂いてから10ヶ月を経過致しました。今では、利用者さんも、職員も来訪を歓迎しております。それは介護相談員の人柄でしょうか、利用者さんの代弁者として指摘事項を適性に職員に伝えて頂くのですが、利用者さんの立場だけではなく、職員の立場も考慮された発言だからです。指摘事項は受け入れ易く、改善の行動も早いです。気がついたことは、相談員も職員も共に利用者さんの笑顔に共通の価値観があることです。相談員の社会的役割は意義があり、当施設も質の高い介護サービスを目指します。

介護相談員の実績

- リハビリの効果がある人がいるのは、他の人にもよい影響がある。
- 口腔管理の徹底と食事への気配りが利用者の健康向上につながっていると感じた。
- 配膳時の食器の蓋を取り決めたところにサイズごとに置くなど、利用者ができることはしてもらうことはよいと感じた。

介護相談員の活動内容の共有

- ア) 2か月に1回、介護相談員全員が区役所会議室に集まり、活動状況の報告と意見交換を行っています。
- イ) 3月に施設職員を交え、区役所会議室において活動状況や体制などの報告と意見交換会を行っています。

介護相談員の紹介及び訪問先

介護相談員ユニホーム紹介

(お揃いのベストで訪問中!)



氏 名

特別養護老人ホーム・介護老人保健施設

秋山 智恵子
岡田 弘子

特別養護老人ホーム「旭ホーム」、特別養護老人ホーム「さくら苑」
特別養護老人ホーム「旭ホーム」、特別養護老人ホーム「さくら苑」

～施設紹介～



特別養護老人ホーム「グリーンサイド清盛」

運営法人：(福) 清正会 定員：104人 開設日：平成5年3月
所在地：万騎が原4 電話：362-3355
交通：「二俣川駅」下車徒歩15分

生活相談員 武田 龍也 氏

介護相談員の方に訪問して頂いて2年。最初は正直ご利用者様と信頼関係が築けていけるのだろうか？安心につながっているのだろうか？など不安がありました。職員によるご利用者様のケアについてどうしても目の前の対応に追われきめ細やかな事をご利用者様に傾けることが難しい傾向にある。日々訪問して頂いているうちに、ご利用者様本人の本音が時間をかけなかなか聴こえない中、第三者である介護相談員を介して施設にとって有意義な情報を(利用者の声)得られる為、対応を改めて考えることができ、努力していきたいと思えます。

介護相談員 澤池 弘子

この施設に訪問を始めて2年経ちました。すっかり顔なじみになり、笑顔で迎えて下さいます。食事を共にしたり、話し込んだりする中から利用者さんの思いや願いを汲みとり、より良い生活を送れるよう施設の方へ伝え、話し合っていきます。職員の皆さんが、穏やかにやさしく利用者さんに接しておられるのを見るにつけ、この人手不足の中で本当によく努力されているのがわかりますと同時に、介護保険の在り方の根本的な検討の必要も感じます。

施設旭区金が谷の小高い丘に緑の舟が大海原を航海しています。予防介護と学習療法を積極的に取り入れ、在宅復帰をゴールとしたケアを提供しております。

介護老人保健施設「銀の舟よこはま」

運営法人：(医) 千草会 定員：130人 開設日：平成14年4月
所在地：金が谷614番地3 電話：369-7711
交通：相鉄線二俣川駅よりバス「旭高校入口行き」金が谷バス停から徒歩3分

看介護長 松村 政子 氏

旭区の「介護相談員派遣事業」の開設以来(平成18年)介護相談員さんの訪問を受け入れています。現在は2代目の方々です。介護相談人の方々には初回の方も皆さんはしっかりとされ指摘も厳しいものですが、利用者さん・職員の表情にも目配り気配りをさせていただき、お褒めの言葉を頂いたときには良いことも改善項目も施設内に掲示しております。介護相談員さんがいらして改善された一番のことは施設内の環境整備が徹底してきたことです。今後とも元気な介護相談員さんの甘辛いアドバイスを頂きたいと思っています。

介護相談員 山田 昭子

訪問時は、朝の体操が終了し、コーヒー・紅茶を飲みながらホットしているティータイム。職員の方々は飲み干したカップの水分量のチェック。食前の口腔体操に続き、昼食。栄養士さんから旬の食材を使用して家庭料理の献立になるよう心掛けているとお話を伺いました。相談員の辛口の感想、指摘に対し、松村さんは丁寧に受け答え、指摘事項全ては職員会議に報告し、ホールに掲示。できることはすぐに取り組み、改善しますと明言。何よりもうれしいことは、介護職と事務職が一緒になって取り組んでいる姿勢です。今後を期待します。



編集後記

昨年11月に旭公会堂で開催された「介護の現場から学ぶこと」のシンポジウムに参加して、それぞれの立場からの報告を聞きました。サービス内容、施設のあり方、在宅復帰への取組、認知症に対する考え方、現実をどう受け止められるか。日々の苦悩が話されました。利用者の思いと事業者の思いが近づくように、介護相談員はこれからも橋渡しとなっていきたいと思えます。